

来週の「売り物」記事はこれ



2015年3月6日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

東日本大震災4年

復興へのそれぞれの道

南三陸 巨漢兄弟の決断

8日(日)



東日本大震災から4年がたとうとしているなか、被災者たちは本格的な生活再建の段階にさしかかり、将来に向けた「決断の時」を迎えようとしています。このまま被災地に残り震災前の生活を取り戻すのか。それとも、新天地に将来を見いだすのか——。もちろん、正解のある「選択」



ではありません。6割の家屋が全半壊し、1000人近い人たちの命が失われた宮城県南三陸町＝写真。一組の兄弟に注目しました。スポーツバーを経営していた内田卓磨さん(44)と、智貴さん(38)です。兄は町を出て東京へ、そして弟は地元に残る決心をしました。どちらも成算があるわけではありません。それぞれの道を踏みだそうとする兄弟。2人の姿を通して、被災者たちの「明日への苦闘」を描きます。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

東日本大震災から4年となる、11日の紙面では、「私の決意」と題した被災者のメッセージを予定しています。1面から社会面まで、各面に展開します。復興が進む被災地で暮らす人々や、帰るに帰れず避難生活を続ける人々がどのような思いで暮らしているか。消防士を目指す元高校球児、復興支援の強化を図る商社マン、ボランティアに目覚めた町職員、「津波の伝承」を卒論のテーマに選んだ女性など、記者が会ってインタビューし、それぞれの決意を紹介します。

11日に各地で行われる追悼式の様子、そこで交わされた言葉を紹介する「ドキュメント」などは12日の紙面での掲載です。未曾有の災害を受け継ごうとする人々の思い、犠牲になった人への鎮魂の気持ちなど、さまざまな角度から震災に向き合う心情を描きます。また、復興予算の財源問題、ボランティアの傾向といった視点から、「4年」の現状や課題を考察します。

東日本大震災と原発事故から4年

この国はどこへ行こうとしているのか

夕刊2面特集ワイド 11日(水)から3回



東日本大震災と東京電力福島第1原発事故から11日で4年となります。復興へ向けた事業が順次進んではいるものの、いまだに多くの人々が仮住まいでの暮らしを強いられ、故郷への帰還のめどすら立たない人も多数に上ります。そして震災では、経済成長を最優先にしてきたこの国のあり方が問われましたが、今ではその教訓が軽んじられてはいないでしょうか。民俗学者の赤坂憲雄さん、作家の柳田邦男さん、脚本家の倉本聰さんにかがみ、今後の道筋を探ります。

連載企画「思い語り継ぐ 東京大空襲 70年」

夕刊社会面 9日（月）から

ひと晩で10万人が亡くなった東京大空襲から3月10日で70年となります。紙面では、悲惨な体験を後世に伝えようと懸命に活動する人びとを描く連載「思い語り継ぐ」を夕刊に掲載します。また、TBSテレビとの共同企画「千の証言」でも、空襲をテーマに12日朝刊の特集面で体験者の投稿を紹介し、戦争の惨禍を多角的に伝えていきます。



戦後70年企画「ミンダナオ 密林の記憶」

朝刊2面 10日（火）から

密林の記憶

好評の戦後70年企画で、新しいシリーズ「ミンダナオ 密林の記憶」が10日朝刊2面で始まります。主人公は、日本人移民を父、フィリピン人を母とし、南部のミンダナオ島で暮らす日系2世の女性です。母は早くに病気で他界し、13歳のころ、太平洋戦争の戦火を逃れようと父や妹、弟とともに島のジャングルへ逃げ込み、そこで父とも死別します。

女性は苦勞しながら島で戦後を生き抜き、2年前の夏、日本国籍を得ようと来日しました。「私は日本人の子です」と訴えましたが、物的証拠はなく、父については「カトウ」という姓だけで下の名も覚えていません。国籍取得は無理とみられていましたが、女性や父と密林の中で出会った元日本兵が奇跡的に見つかり、その証言で念願の国籍取得を果たします。取材を進める中で、密林での潜伏生活や女性の戦後の苦勞が浮かび上がりました。そして父「カトウ」の正体は…。物語はテンポよく展開し、最後にスリリングな謎解きが待っています。ご期待下さい。

米團治の粋な噺で行きましょう おんなのしんぶん 8日（月）

隔月で連載している桂米團治さんの対談コーナー。今回のゲストは、現代俳句協会最高顧問の宇多喜代子さん＝写真＝です。米團治さんの父・米朝さんとの親交が深い宇多さん。米團治さんは「私は門外漢で」と言いながら、豊富な知識と巧みな話術で対談を大いに盛り上げていました。



私の好きな場所～藤原美智子さん くらしナビ面 7日（土）



著名人のお気に入りの空間や部屋を紹介するコーナー。今回は雑誌やテレビなどで幅広く活躍する、ヘア・メーキャップアーティストの藤原美智子さんの静岡県下田市にある別荘をお訪ねしました。「いつか海の近くで暮らしたい」という夢をかなえたその別荘は、クリーム色のシンプルな外観で、光と風の入り方にポイントがありました。

東日本大震災4年～前へ くらしナビ面 10日（火）から3回

大規模な津波被害と原発事故を引き起こした東日本大震災からまもなく4年を迎えようとしています。本格的な復興にはほど遠い地域や被災者も、いまだ多い状況ですが、それでも、変化の兆しや希望の芽も見え始めています。被災地で一步前に踏み出そうしている人たちの姿を追います。



センバツ組み合わせ抽選会

12日（木）夕刊・13日（金）朝刊



21日に兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する「第87回選抜高校野球大会」（毎日新聞社、日本高校野球連盟主催）の組み合わせ抽選会が13日午前、毎日新聞大阪本社オーバルホールで開かれます。出場校は▽一般選考28校▽21世紀枠3校▽神宮大会枠1校、の計32校。最多出場は昨年優勝の龍谷大平安（京都）で39回目。28回目の県岐阜商（岐阜）、23回目の天理（奈良）など常連校のほか、大曲工（秋田）▽奈良大付（奈良）▽米子北（鳥取）▽英明（香川）▽糸満（沖縄）▽豊橋工（愛知、21世紀枠）の6校が初めてセンバツの舞台に立ちます。同一地区の出場校同士は準々決勝まで、同一都道府県の出場校同士は決勝まで対戦しないよう振り分けた上で組み合わせが決まります。運命の瞬間。抽選会に臨んだ主将の表情や、組み合わせを踏まえた大会の展望などをお届けします。